



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミルボン

コード番号 4919 URL <http://www.milbon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 龍二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 村井 正浩

TEL 06-6928-2331

四半期報告書提出予定日 平成27年7月31日

配当支払開始予定日

平成27年8月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成26年12月21日～平成27年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	13,074	7.4	2,370	10.5	2,270	14.6	1,444	21.4
26年12月期第2四半期	12,173	6.5	2,144	△2.3	1,981	△4.0	1,190	△6.4

(注)包括利益 27年12月期第2四半期 1,950百万円 (49.1%) 26年12月期第2四半期 1,308百万円 (△26.7%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年12月期第2四半期	88.21		—	
26年12月期第2四半期	72.68		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	30,049		25,458		84.7	
26年12月期	28,138		24,104		85.7	

(参考)自己資本 27年12月期第2四半期 25,458百万円 26年12月期 24,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年12月期	—	34.00	—	34.00	68.00
27年12月期	—	35.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成26年12月21日～平成27年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	26,900	6.6	4,661	4.7	4,369	3.6	2,630	0.3	160.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	16,558,617 株	26年12月期	16,558,617 株
27年12月期2Q	185,494 株	26年12月期	184,672 株
27年12月期2Q	16,373,548 株	26年12月期2Q	16,375,467 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善等に支えられた国内投資回帰の動きや、家計所得及び雇用改善を背景として個人消費に持ち直しの兆しが見られるなど、緩やかな回復基調が続いています。美容業界におきましては、人口動態の影響により美容室の集客や新人スタッフの採用がより難しくなっているものの、昨年の消費税増税後の来店サイクルの伸びなどといった消費控えの動きは落ち着きを取り戻している模様です。

このような状況のもと、当社グループは、美容室の中心顧客である40代女性と、美への意識が変わり始める20代半ばの女性のニーズに応えることが重要と考え、美容室に対して『社会で輝き続ける女性の「美への目覚めから意識の高まり」にまで応えるために、プロの専門性を高め生産性の向上を支援します』をテーマに取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、130億74百万円（前年同期比7.4%増）となりました。この主な要因は、ヘアケア用剤部門において、システムヘアケアブランド「オージュア」が順調に伸長していることや、5月度発売の働く20代女性の「ケアに目覚めるスイッチ」を入れる新ヘアケアブランド「ジェミールフラン」を始めとして、毛髪補修成分「CMADK」を配合した各ヘアケア製品が順調に推移していることによるものです。また、染毛剤部門においては、6月度発売のロングヘアを美しく染められるグレイカラー「オルディープクリスタル」が市場からの高い評価を背景に順調な立ち上がりを見せております。海外子会社の売上高が、美容室に対する活発な教育活動により順調に伸長できたことも要因のひとつです。

営業利益は23億70百万円（同10.5%増）、経常利益は22億70百万円（同14.6%増）、四半期純利益は14億44百万円（同21.4%増）となりました。

部門別売上高及び国内海外別売上高は次のとおりです。

【連結部門別売上高】

(単位：百万円)

部門	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額	増減率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
ヘアケア用剤	6,865	56.4	7,655	58.6	790	11.5
染毛剤	4,397	36.1	4,606	35.2	209	4.8
パーマメントウェーブ用剤	797	6.6	718	5.5	△79	△9.9
その他	113	0.9	94	0.7	△18	△16.5
合計	12,173	100.0	13,074	100.0	901	7.4

【国内海外別売上高】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額	増減率(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
国内売上高	10,959	90.0	11,441	87.5	482	4.4
海外売上高	1,213	10.0	1,633	12.5	419	34.6
合計	12,173	100.0	13,074	100.0	901	7.4

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して19億10百万円増加の300億49百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して7億27百万円増加の150億34百万円となりました。主な変動要因は、有価証券(合同運用指定金銭信託等)が29億99百万円、商品及び製品が5億70百万円それぞれ増加し、現金及び預金が29億57百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して11億82百万円増加の150億14百万円となりました。主な変動要因はゆめが丘工場の隣接地購入に伴う土地の増加4億13百万円、上場株式の時価上昇等により投資有価証券が5億39百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して3億99百万円増加の42億68百万円となりました。主な変動要因は、買掛金が2億75百万円、未払金が2億33百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して、大きな変動はありませんでした。

純資産は前連結会計年度末と比較して13億54百万円増加の254億58百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加8億51百万円と上場株式の時価上昇等によりその他有価証券評価差額金が3億48百万円、円安の影響により為替換算調整勘定が1億64百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.7%から84.7%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産は、前連結会計年度末の1,472円10銭から1,554円89銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は営業活動で獲得した資金を、納税による法人税等の支払及び配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて57百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は70億89百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は16億76百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益22億59百万円の計上、減価償却費4億99百万円、仕入債務の増加額2億57百万円とたな卸資産の増加額5億73百万円、法人税等の支払額7億56百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億9百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出10億13百万円、定期預金の預入による支出92百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億59百万円となりました。これは主に株主さまへの配当金支払額5億56百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回予想(平成27年1月21日発表)からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が55,973千円減少し、利益剰余金が36,103千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,386,867	4,429,005
受取手形及び売掛金	3,427,276	3,406,376
有価証券	—	2,999,938
商品及び製品	2,258,355	2,828,986
仕掛品	22,989	20,642
原材料及び貯蔵品	795,564	855,398
その他	460,762	538,770
貸倒引当金	△44,289	△44,215
流動資産合計	14,307,525	15,034,902
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,270,850	4,382,324
機械装置及び運搬具(純額)	1,076,672	1,063,692
土地	4,876,552	5,290,424
建設仮勘定	58,635	114,131
その他(純額)	248,178	328,630
有形固定資産合計	10,530,889	11,179,202
無形固定資産	448,856	411,725
投資その他の資産		
投資有価証券	1,908,728	2,448,705
退職給付に係る資産	257,649	253,499
その他	735,001	770,649
貸倒引当金	△49,681	△49,681
投資その他の資産合計	2,851,698	3,423,172
固定資産合計	13,831,443	15,014,099
資産合計	28,138,969	30,049,002
負債の部		
流動負債		
買掛金	503,378	779,217
未払金	1,841,629	2,074,934
未払法人税等	769,801	795,620
返品調整引当金	24,436	24,548
賞与引当金	89,198	94,855
その他	641,288	499,774
流動負債合計	3,869,733	4,268,949
固定負債		
退職給付に係る負債	20,238	27,523
その他	144,883	294,198
固定負債合計	165,121	321,721
負債合計	4,034,855	4,590,671

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	199,599	199,729
利益剰余金	21,655,660	22,507,120
自己株式	△535,654	△538,756
株主資本合計	23,319,606	24,168,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368,519	716,804
為替換算調整勘定	310,899	475,746
退職給付に係る調整累計額	105,089	97,686
その他の包括利益累計額合計	784,508	1,290,236
純資産合計	24,104,114	25,458,330
負債純資産合計	28,138,969	30,049,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年6月20日)
売上高	12,173,175	13,074,879
売上原価	3,736,266	3,935,993
売上総利益	8,436,908	9,138,886
販売費及び一般管理費	6,292,582	6,768,786
営業利益	2,144,326	2,370,100
営業外収益		
受取利息	6,717	2,531
受取配当金	6,591	6,474
為替差益	—	26,463
社宅負担金	22,918	29,721
保険解約差益	2,753	44,020
その他	4,893	7,140
営業外収益合計	43,874	116,351
営業外費用		
売上割引	195,440	214,451
為替差損	11,311	—
その他	126	1,442
営業外費用合計	206,877	215,894
経常利益	1,981,322	2,270,557
特別利益		
固定資産売却益	811	—
特別利益合計	811	—
特別損失		
固定資産除却損	18,928	10,887
特別損失合計	18,928	10,887
税金等調整前四半期純利益	1,963,205	2,259,669
法人税、住民税及び事業税	775,526	779,348
法人税等調整額	△2,417	36,044
法人税等合計	773,108	815,392
少数株主損益調整前四半期純利益	1,190,097	1,444,277
四半期純利益	1,190,097	1,444,277

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,190,097	1,444,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,903	348,285
為替換算調整勘定	60,149	164,846
退職給付に係る調整額	—	△7,402
その他の包括利益合計	118,053	505,728
四半期包括利益	1,308,150	1,950,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,308,150	1,950,006
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,963,205	2,259,669
減価償却費	479,762	499,914
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,395	△97
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,069	4,627
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,528	112
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△39,719	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△70,672
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	6,299
前払年金費用の増減額(△は増加)	△26,414	—
受取利息及び受取配当金	△13,308	△9,006
為替差損益(△は益)	1,929	△7,467
固定資産売却損益(△は益)	△811	—
固定資産除却損	18,928	10,887
売上債権の増減額(△は増加)	△424,446	26,335
たな卸資産の増減額(△は増加)	△755,727	△573,640
仕入債務の増減額(△は減少)	303,486	257,608
その他	99,001	19,513
小計	1,608,683	2,424,082
利息及び配当金の受取額	11,510	8,762
法人税等の支払額	△925,722	△756,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	694,470	1,676,557
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△791,251	△1,013,504
有形固定資産の売却による収入	1,047	—
無形固定資産の取得による支出	△86,988	△66,578
貸付けによる支出	△2,930	△1,700
貸付金の回収による収入	9,476	4,467
定期預金の預入による支出	—	△92,560
差入保証金の差入による支出	△7,080	△63,102
差入保証金の回収による収入	4,653	24,902
保険積立金の積立による支出	△924	△49,584
保険積立金の解約による収入	3,352	51,766
その他	△7,469	△3,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	△878,113	△1,209,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額(△は増加)	△16,033	△2,972
配当金の支払額	△477,374	△556,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	△493,408	△559,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,211	34,994
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△647,839	△57,084
現金及び現金同等物の期首残高	6,610,371	7,147,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,962,531	7,089,958

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは頭髮化粧品製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。